

令和5年度 里地里山活動状況アンケート 結果（非認定団体）

※割合100%整数化

	数	割合 (%)	割合(2)%
回答あり	23	67.6	68
回答なし	11	32.4	32
計	34	100.0	100

団体の運営等について

Q1 活動開始年について

年代	数	割合 (%)	割合(2)%
昭和50年	1	4.3	4
平成4年	2	8.7	9
平成5年	1	4.3	4
平成6年	0	0.0	0
平成7年	1	4.3	4
平成8年	1	4.3	4
平成9年	0	0.0	0
平成10年	0	0.0	0
平成11年	0	0.0	0
平成12年	2	8.7	9
平成13年	1	4.3	4
平成14年	0	0.0	0
平成15年	0	0.0	0
平成16年	0	0.0	0
平成17年	1	4.3	4
平成18年	1	4.3	4
平成19年	1	4.3	4
平成20年	1	4.3	4
平成21年	0	0.0	0
平成22年	2	8.7	9
平成23年	1	4.3	4
平成24年	1	4.3	4
平成25年	3	13.0	13
平成26年	1	4.3	4
平成27年	0	0.0	0
平成28年	1	4.3	4
平成29年	0	0.0	0
令和2年	1	4.3	4
計	23	99.3	96

Q2 会員数について

人	数	割合 (%)	割合(2)%
0 以上 10 未満	2	9.1	9
10 以上 20 未満	4	18.2	18
20 以上 40 未満	9	40.9	41
40 以上 60 未満	2	9.1	9
60 以上 80 未満	3	13.6	14
80 以上 100 未満	1	4.5	5
100 以上 120 未満	0	0	0
120 以上 120 未満	0	0	0
120 以上 140 未満	0	0	0
140 以上 140 未満	0	0	0
140 以上 400 未満	1	4.5	5
400 以上 400 未満	0	0	0
400 以上 420 未満	0	0	1
計	22	99.9	102

Q3 会費について

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 有	15	65.2	66
2. 無	8	34.8	35
計	23	100	101
【1. 選択の場合】円/年			
円/年	数	割合 (%)	割合(2)%
500	1	6.7	7
1,000	7	46.7	47
2,000	4	26.7	27
2500	1	6.7	7
3000	2	13.3	13
計	15	100.1	101

Q4 年間活動予算について

	円	数	割合 (%)	割合 (2) %
0 以上	100,000 未満	2	9.1	9
100,000 以上	200,000 未満	4	18.2	18
200,000 以上	400,000 未満	8	36.4	36
400,000 以上	600,000 未満	1	4.5	5
600,000 以上	800,000 未満	0	0	0
800,000 以上	1,000,000 未満	1	4.5	5
1,000,000 以上	1,500,000 未満	2	9.1	9
1,500,000 以上	2,000,000 未満	0	0	0
2,000,000 以上	2,500,000 未満	1	4.5	5
2,500,000 以上	3,000,000 未満	1	4.5	5
3,000,000 以上	3,500,000 未満	1	4.5	5
3,500,000 以上	21,000,000 未満	1	4.5	5
21,000,000 以上	22,000,000 未満	0	0	0
計		22	99.8	102

Q5 年間の活動日数等について

	日/年	数	割合 (%)	割合 (2) %
0 以上	10 未満	0	0	0
10 以上	20 未満	7	30.4	30
20 以上	30 未満	9	39.1	39
30 以上	40 未満	1	4.3	4
40 以上	50 未満	0	0	0
50 以上	60 未満	3	13	13
60 以上	70 未満	1	4.3	4
70 以上	80 未満	0	0	0
80 以上	90 未満	0	0	0
90 以上	100 未満	0	0	0
100 以上	110 未満	0	0	0
110 以上	170 未満	2	8.7	9
170 以上	180 未満	0	0	0
計		23	99.8	99

Q6 年間の活動延べ人数について

	人	数	割合 (%)	割合 (2) %
0 以上	50 未満	1	4.3	4
50 以上	100 未満	5	21.7	22
100 以上	250 未満	9	39.1	39
250 以上	500 未満	2	8.7	9
500 以上	750 未満	2	8.7	9
750 以上	1,000 未満	1	4.3	4
1,000 以上	1,500 未満	1	4.3	4
1,500 以上	2,000 未満	1	4.3	4
2,000 以上	2,500 未満	1	4.3	4
2,500 以上	3,000 未満	0	0	0
3,000 以上	3,100 未満	0	0	0
計		23	99.7	99

Q7 土地所有者は活動団体に加入していますか？

	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. はい	10	43.5	43
2. いいえ	13	56.5	57
計	23	100	100

Q8 土地所有者との面会の頻度について

	回/年	数	割合 (%)	割合 (2) %
0		5	26.3	26
1		2	10.5	11
2		4	21.1	21
3		2	10.5	11
4		0	0	0
5 以上	10 未満	2	10.5	11
10 以上	15 未満	1	5.3	5
15 以上	20 未満	1	5.3	5
20 以上	25 未満	1	5.3	5
25 以上	50 未満	0	0	0
50 以上	55 未満	0	0	0
その他		1	5.3	5
計		19	100.1	100

【その他内容】

0.5回

Q9 [※本質問は活動中に相続・売買等により土地の所有者が変わったことがあるという団体に伺います。]

土地所有者が変わった際、新しい所有者は活動に対し理解がありましたか？

	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 理解があり継続して活動を行うことができた	4	18.2	18
2. 活動継続に至らなかった	0	0	0
3. その他	3	13.6	14
4. 未回答	15	68.2	68
計	22	100.0	100
その他 (内容)			
所有者の変更はない			
市が土地所有者			
市が委託を受けて実施している			
土地所有者が分からない			

Q10 活動の様子やイベント等をどういった手段で広報していますか？ (いくつでも)

※複数回答可		数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 会報発行		6	20	20
2. HP、SNS等		5	16.7	17
3. 市町村の広報誌やタウン誌等		4	13.3	13
4. 特に広報をしていない		9	30	30
5. その他		6	20	20
6. 未回答		0	0	0
計		30	100	100
会報発行頻度(回/年)				
回/年	数	割合 (%)	割合 (2) %	
1	3	60	60	
2	1	20	20	
3	1	20	20	
4	0	0	0	
5	0	0	0	
6	0	0	0	
計	5	100	100	
その他 (内容)				
	数	割合 (%)	割合 (2) %	
活動報告会	0	0	0	
パンフレット作成	0	0	0	
メーリングリスト	1	25	25	
企業の社内掲示板	1	25	25	
組合で目的を決めて参加してもらう	1	25	25	
J Aの広報	1	25	25	
計	4	100	100	

Q11 団体としての活動内容を教えてください。(主な活動の上位3項目の番号を記入)

1位	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 農業生産	3	13.0	13
2. 耕作放棄地対策	1	4.3	4
3. 森林整備	12	52.2	52
4. 景観保全	0	0.0	0
5. 有害鳥獣駆除	0	0.0	0
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	0	0.0	0
8. 生態系の保全	2	8.7	9
9. 環境教育	1	4.3	4
10. 農林業体験	0	0.0	0
11. 里山文化保全	0	0.0	0
12. 都市と農山村の交流	0	0.0	0
13. 生活環境保全	1	4.3	4
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	0	0.0	0
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	2	8.7	9
18. 市民活動/ボランティア講座	0	0.0	0
19. 憩いの場/散策路等整備	0	0.0	0
20. 学校連携	0	0.0	0
21. その他	1	4.3	4
22. 未回答	0	0.0	0
計	23	99.8	99

2位	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 農業生産	0	0.0	0
2. 耕作放棄地対策	1	4.5	5
3. 森林整備	3	13.6	14
4. 景観保全	3	13.6	14
5. 有害鳥獣駆除	1	4.5	5
6. 災害防止	1	4.5	5
7. 自然観察・生物調査	4	18.2	18
8. 生態系の保全	2	9.1	9
9. 環境教育	0	0.0	0
10. 農林業体験	2	9.1	9
11. 里山文化保全	1	4.5	5
12. 都市と農山村の交流	0	0.0	0
13. 生活環境保全	0	0.0	0
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	1	4.5	5
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	1	4.5	5
18. 市民活動/ボランティア講座	1	4.5	5
19. 憩いの場/散策路等整備	1	4.5	5
20. 学校連携	0	0.0	0
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	22	99.6	104

3位	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 農業生産	2	9.1	9
2. 耕作放棄地対策	0	0.0	0
3. 森林整備	1	4.5	5
4. 景観保全	4	18.2	18
5. 有害鳥獣駆除	1	4.5	5
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	3	13.6	14
8. 生態系の保全	2	9.1	9
9. 環境教育	2	9.1	9
10. 農林業体験	0	0.0	0
11. 里山文化保全	1	4.5	5
12. 都市と農山村の交流	0	0.0	0
13. 生活環境保全	0	0.0	0
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	1	4.5	5
16. 知識/技術の継承	1	4.5	5
17. 健康の維持増進	0	0.0	0
18. 市民活動/ボランティア講座	1	4.5	5
19. 憩いの場/散策路等整備	2	9.1	9
20. 学校連携	1	4.5	5
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	22	99.7	103

1～3位の合計	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 農業生産	5	7.5	6
2. 耕作放棄地対策	2	3.0	2
3. 森林整備	16	23.9	23
4. 景観保全	7	10.4	9
5. 有害鳥獣駆除	2	3.0	3
6. 災害防止	1	1.5	1
7. 自然観察・生物調査	7	10.4	10
8. 生態系の保全	6	9.0	9
9. 環境教育	3	4.5	4
10. 農林業体験	2	3.0	3
11. 里山文化保全	2	3.0	3
12. 都市と農山村の交流	0	0.0	0
13. 生活環境保全	1	1.5	1
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	2	3.0	3
16. 知識/技術の継承	1	1.5	1
17. 健康の維持増進	3	4.5	4
18. 市民活動/ボランティア講座	2	3.0	3
19. 憩いの場/散策路等整備	3	4.5	4
20. 学校連携	1	1.5	1
21. その他	1	1.5	1
22. 未回答	0	0.0	0
計	67	100.2	91

Q11また、活動のきっかけやキーワードとなるものに○をつけてください(いくつでも)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 農業生産	7	6.1	6
2. 耕作放棄地対策	5	4.3	4
3. 森林整備	18	15.7	16
4. 景観保全	10	8.7	9
5. 有害鳥獣駆除	4	3.5	3
6. 災害防止	2	1.7	2
7. 自然観察・生物調査	9	7.8	8
8. 生態系の保全	8	7.0	7
9. 環境教育	7	6.1	6
10. 農林業体験	5	4.3	4
11. 里山文化保全	5	4.3	4
12. 都市と農山村の交流	1	0.9	1
13. 生活環境保全	4	3.5	3
14. 自治会活動	2	1.7	2
15. 余暇活動	3	2.6	3
16. 知識/技術の継承	2	1.7	2
17. 健康の維持増進	5	4.3	4
18. 市民活動/ボランティア講座	6	5.2	5
19. 憩いの場/散策路等整備	5	4.3	4
20. 学校連携	6	5.2	5
21. その他	1	0.9	1
計	115	99.8	99
その他(内容)			
高齢者(土地所有者)支援			

Q12 活動の後継者はいますか。

	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. はい	9	39.1	39
2. いいえ	13	56.5	57
3. 未回答	1	4.3	4
計	23	99.9	100

Q13 後継者育成の取組を行っている場合は、その内容をご記入ください。

市のイベントや会の観察会などで勧誘
会員募集や体験活動を行ったが高齢化や死去により難しい。
市との協働で市民向けボランティア養成講座を実施
活動の中で育成している
新入会員にチェックシート、刈払機の講習を受けてもらう
若い人に声掛けをしているが、難しい。
企業の社内掲示板で参加者を募り、その中で後継者を探す。
青壮年部と協力。
会への加入希望者は全員一年間自然塾生となってもらい、様々な行事や、仕事を体験してもらった後会員になってもらう。

Q14 里地里山活動団体同士の連携等がありますか？(いくつでも)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 作業に関するアドバイスや技術等の提供を受けている	3	10.7	11
2. 作業に関するアドバイスや技術等を提供している	3	10.7	11
3. 機材の貸し借りをしている	4	14.3	14
4. 活動事例を参考にするための研修等の人的交流	2	7.1	7
5. 特になし	14	50	50
6. その他	1	3.6	4
7. 未回答	1	3.6	4
計	28	100.0	100
その他(内容)			
近隣団体と交流あり			
双方の作業を互いに支援			
イネの苗の提供を受けている			

Q15 会費、行政からの補助金の他に、団体の収入源がある場合は、その内容をご記入下さい。

ふるさと大田を守り楽しむ会の助成金
過去に4年間民間の助成を受けたことがあるが、定期的には無し。
今は無し。過去に、国土緑化推進機構やみどり財団等の助成金を受けた。
企業からの支援金
活動時の昼食代、寄付
寄付金
木炭、竹酢液、木酢液、八重桜の花、銀杏の販売
東電の線下補償
農産物の販売
寄付金と基金(過去、会の活動に賛同いただいた方からの寄付金を元に)

活動計画について

Q16 活動計画等の策定にあたり活動場所の調査を実施しましたか？

活動計画策定の有無	数	割合 (%)	割合(2)%
1. はい	19	82.6	83
2. いいえ	2	8.7	9
3. 未回答	2	8.7	9
計	23	100.0	101

調査実施の有無	数	割合 (%)	割合(2)%
1. はい	17	73.9	74
2. いいえ	4	17.4	17
3. 未回答	2	8.7	9
計	23	100.0	100

内容	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 土地所有者		7	7.3	8
2. 隣接地の様子		5	5.2	5
3. 交通の便		4	4.2	4
4. 地形		8	8.3	8
5. 地質		2	2.1	2
6. 土壌		5	5.2	5
7. 湧水		4	4.2	4
8. 災害危険箇所		5	5.2	5
9. 農作物		4	4.2	4
10. 樹木		10	10.4	10
11. 草花		7	7.3	7
12. きのこと		3	3.1	3
13. 哺乳類		3	3.1	3
14. 小動物		4	4.2	4
15. 鳥類		5	5.2	5
16. 爬虫類		3	3.1	3
17. 両生類		3	3.1	3
18. 魚類		4	4.2	4
19. 昆虫		5	5.2	5
20. その他		3	3.1	3
21. 未回答		2	2.1	2
計		96	100	97

その他(内容)

竹林、ヒル

ヤマビル

竹林

調査をした方	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 会員	15	93.8	94
2. 会員以外の外部専門家	0	0.0	0
3. 会員及び外部専門家	1	6.3	6
計	16	100.1	100

Q17 目標とする里地里山のイメージがありますか？ある場合、それはどのようなものですか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. はい	18	78.3	79
2. いいえ	5	21.7	22
計	23	100.0	101

【1. ある場合】

【イメージの内容, キーワード】

	数	割合 (%)	割合(2)%
原風景の保全、景観保全、緑地、保護、人の手が入っている里山	11	64.7	64
花、紅葉、憩い	3	17.6	18
生物多様性	2	11.8	12
健康	1	5.9	6
計	17	100	100

【1. ある場合】	イメージの内容
	遊歩道、ハイキングコース
	明るい雑木林で子供達が自然とふれあう
	逗子にある昔からの生態系の保全と市民、子供達の学びの空間にする。
	下草刈りや間伐、植樹等による良好な里山環境
	森と草原と休憩所と収穫できるものがある里山
	森林整備（草刈、倒木片づけなど）
	林景が整った感じ。特に樹種と成育年数と手入れ状況
	人手の行き届いた里地里山
	廃田部分を湿地に戻す（浅い水面や深い窪みなど多様な環境）、緑地内樹林の更新作業が定期的に行われている
	一般の人がハイキングなどで楽しめる。シイタケづくりが可能な薪の供給ができる。
	竹やぶから山林へ
	植栽地を散策路のように
	景観の保全
	人が手入れをして樹木、草花が生き活きと育っている里地里山
	地形、樹木、草花、農業生産、住環境の調和とバランス
	昔の里山を取り戻したい
	地域に根付いたもの
	谷戸の地形を生かした山からの水で棚田、畑を整備。周囲の山斜面の定期的な間伐、落葉樹、植樹を含め光も差し込むバランスの取れた森の創出。落ち葉や竹炭を活用した米、野菜作り

Q18 目標とする里地里山のイメージがある場合、それは何年後のイメージですか？

	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 既に整備済	5	29.4	29
2. 作業直後	1	5.9	6
3. 1~2年後	1	5.9	6
4. 3~5年後	3	17.6	18
5. 5年後以降	6	35.3	35
6. 未回答	1	5.9	6
計	17	100.0	100

Q19 団体が整備したあとの里地里山を使った活動 又は 既に整備済みの里地里山を利活用されている場合はその活動内容等を教えてください。

対象者
市民、ハイカー、小学生やその保護者、地権者、活動団体会員
活動内容
遊歩道、ハイキングコースとして利用
自然観察
昆虫観察会（年2回）、田植え、稲刈り体験会
ナラ枯れで太い枝の落下や倒木による危険があり、安全が確保できるまで休止中
水田作業、山林下草刈り、散策路整備
椎茸のほだ木づくりと薪作り
近所の小学生のシイタケの菌駒打ち体験
竹の子栽培
木のツル、木の実を使ったクリスマスリース作り、落ち葉を置いた里山のスロープをそりで滑る落ち葉滑り
山林の間伐、草刈、畑の管理
公園として活用
農産物、ひまわりの栽培など
棚田の整備、米作り、畑での野菜作り、周囲の森林の伐採、植樹

活動場所について

Q20 活動場所（面積等）を教えてください。

箇所数	数	割合 (%)	割合(2)%
1	12	54.5	55
2	3	13.6	14
3	2	9.1	9
4	1	4.5	5
5	3	13.6	14
6	0	0.0	0
7	0	0.0	0
8	0	0.0	0
9	0	0.0	0
10	0	0.0	0
11	0	0.0	0
12	0	0.0	0
13	0	0.0	0
14以上	1	4.5	5
計	22	99.8	102

合計面積(ha)	数	割合 (%)	割合(2)%
0.0 以上 1.0 未満	5	22.7	23
1.0 以上 2.0 未満	8	36.4	36
2.0 以上 3.0 未満	2	9.1	9
3.0 以上 4.0 未満	1	4.5	5
4.0 以上 5.0 未満	1	4.5	5
5.0 以上 15.0 未満	1	4.5	5
15.0 以上 25.0 未満	1	4.5	5
25.0 以上 50.0 未満	2	9.1	9
50.0 以上 75.0 未満	1	4.5	5
計	22	99.8	102

Q21 活動場所に含まれるものに○をつけてください（いくつでも）

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 田(休耕田含む)	8	20.0	20
2. 畑(休耕地含む)	9	22.5	23
3. 樹園地	5	12.5	13
4. 水辺(溜池や用水路等)	4	10.0	10
5. その他	12	30.0	30
6. 未回答	2	5.0	5
計	40	100.0	101

その他(内容)	数	割合 (%)	割合(2)%
雑木林、森林、竹林、林地、山林、樹園地等	11	91.7	92
緑地	1	8.3	8
計	12	100.0	100

Q22 活動場所は普段、一般開放されていますか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 近隣住民等が自由に散策できる	12	52.2	51
2. 常時開放はしていない(予約制等)	0	0.0	0
3. 立ち入り禁止としている(無断で入らないよう柵、看板等で注意喚起している)	5	21.7	22
4. その他	4	17.4	17
5. 未回答	2	8.7	9
計	23	100.0	99

その他(内容)
秦野市のスポーツ広場及び契約私有地 一部(銀杏畑、八重桜林)は立入禁止としている

Q23 活動場所を一般開放している場合、安全対策への取り組みや考え方を教えてください。

電動工具に変更
危険木のある所は立ち入り禁止にしている
まむしの注意看板設置、溜池管理者(市)が防護策と注意看板設置
山の中のため人はあまり来ない
現在はナラ枯れのため中止
特段一般開放を謳ってはいないが入ることはできる。
注意看板設置(ヤマビル、ナラ枯れ木の落下、毒キノコ)、原則自己責任
保護柵、ロープを設置
福祉施設散策コース
ナラ枯れの被害あり枯れ木について注意喚起
市の公園なので危険がある時は市の担当者に連絡
看板設置(農考会の田んぼと分かるようにしている)
立て看板での注意喚起



Q24 活動場所で栽培している作物について、多い順に1から番号をつけてください。

1番	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	6	26.1	26
2. 畑作物	1	4.3	4
3. 果樹	1	4.3	4
4. きのこと類	7	30.4	30
5. 景観作物	0	0.0	0
6. その他	2	8.7	9
7. 未回答	6	26.1	26
計	23	99.9	99

2番	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	0	0.0	0
2. 畑作物	4	40.0	40
3. 果樹	2	20.0	20
4. きのこと類	2	20.0	20
5. 景観作物	2	20.0	20
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	10	100	100

3番	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	0	0.0	0
2. 畑作物	0	0.0	0
3. 果樹	2	66.7	67
4. きのこと類	1	33.3	33
5. 景観作物	0	0.0	0
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	3	100	100

4番	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	0	0.0	0
2. 畑作物	0	0.0	0
3. 果樹	0	0.0	0
4. きのこと類	1	100.0	100
5. 景観作物	0	0.0	0
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	1	100	100

1～6番の合計	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	6	16.2	15
2. 畑作物	5	13.5	14
3. 果樹	5	13.5	14
4. きのこと類	11	29.7	30
5. 景観作物	2	5.4	5
6. その他	2	5.4	5
7. 未回答	6	16.2	16
計	37	99.9	99

※選択肢は6番（その他）までであるが、回答の記載は4番までしかなかった。

その他(内容)

※複数回答		数	割合 (%)	割合(2) %
栽培していない		2	100	100
計		2	100	100

Q25 活動場所の広さについて、該当するものに○をつけてください。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 広い	2	8.7	9
2. 少し広い	5	21.7	22
3. ちょうど良い	14	60.9	61
4. 少し狭い	1	4.3	4
5. 狭い	0	0.0	0
6. 未回答	1	4.3	4
計	23	99.9	100

活動内容について

Q26 農地の再生や、林地保全の整備作業の時に使用している道具を教えてください。(いくつでも。○をしてください。)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 刈り払い機	21	20.8	21
2. チェーンソー	19	18.8	19
3. 鋸	18	17.8	18
4. 手カマ	18	17.8	18
5. 大ガマ	8	7.9	8
6. 鉋	13	12.9	13
7. その他	4	4.0	4
計	101	100.0	101
その他(内容)			
竹ノコギリ、レシプロソー			
ハンマーナイフ、チルホール、ロープ、チップパー			
プロア			
ポールソー、ポール式ヘッジトリマ、園芸シャベル、貫通ドライバー、ツーリングライミングギア、リギング作業ギア			
クサビ、かけや、トグロ			
受電式バリカン、チリホール、電動ドリルなど			
脱穀機、チップパー、耕運機			

Q27 農作業時や整備作業時、その他の活動時に、あれば便利 又は 今後欲しいと思う機材等があれば、ご記入ください。

レシプロソー
枝、葉等の破碎機(エンジン付き)
チェーンソー
林内運搬具
軟弱地、斜面对応の小型運搬車、小型木材集材運搬車
チリホール(伐木用)
竹チップパー
エンジン式の機械を充電式に変えたい
竹のチップパー
ハンマーモア
開放型可搬式の炭化炉(竹炭用)

Q28 道具(機械類)の管理等に該当するものに○をつけてください(いくつでも)

保有の形態	※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 個人で購入		7	26.9	27
2. 会費等を原資に団体で購入		19	73.1	73
3. リース等		0	0.0	0
4. 未回答		0	0.0	0
計		26	100.0	100

保管場所	※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 個人で保管		8	30.8	31
2. 団体が所有する物置等に保管		18	69.2	69
3. 未回答		0	0.0	0
計		26	100.0	100

機械類の整備	※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 個人で行う		9	36.0	36
2. 団体の活動の中で行う		16	64.0	64
3. 未回答		0	0.0	0
計		25	100.0	100

Q29 作業で生じた伐採木や枝葉、草刈り後の草などをどのように処理していますか?(いくつでも)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 燃料として利用	7	17.1	17
2. 林内に蓄積	12	29.3	29
3. ごみ処分	4	9.8	10
4. 腐葉土作り	10	24.4	24
5. クラフト材料	2	4.9	5
6. その他	5	12.2	12
7. 未回答	1	2.4	2
計	41	100.1	99
その他(内容)			
利用希望者に配布			
シイタケ原木			
チップ化(竹チップパー使用)			
しいたけのほだ木			
そのまま			

Q30 活動の記録方法について該当するものに○をつけてください（いくつでも）

※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 作業日誌（毎回作成）	11	28.2	28
2. 作業日誌（ときどき作成）	2	5.1	5
3. 写真、ビデオ ※ほぼ、写真	18	46.2	46
4. 特に記録していない	4	10.3	10
5. その他	4	10.3	10
計	39	100.1	99
その他（内容）			
秦野市に報告			
活動報告書（写真入り、年1回作成）			
センサーカメラで動物調査を記録			
日程表、参加人数の管理			

安全対策について

Q31 ここ数年の間において活動中の事故（熱中症等を含む）がありましたか？

	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. あった	8	34.8	35
2. なかった	15	65.2	65
3. 不明	0	0.0	0
4. 未回答	0	0.0	0
計	23	100.0	100

Q32 [※問31で「あった」という団体に伺います。] 事故等の内容について教えてください。

負傷等の種類	※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 切創、刺創		3	25.0	25
2. 挫傷、打撲		1	8.3	8
3. ハチ、蛇等の咬傷等 ※主にハチ		5	41.7	42
4. 虫、植物等によるかぶれ		1	8.3	8
5. 熱中症等		1	8.3	8
6. その他		1	8.3	8
7. 未回答		0	0.0	0
計		12	99.9	99
その他（内容）				
ヤマビルによる咬傷				

事故の発生時	※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 農作業中		0	0.0	0
2. 農地再生、林地保全整備中（チェーンソーの取扱い中を含む）		3	37.5	38
3. 草刈り中（刈払い機の取扱い中を含む）		4	50.0	50
4. その他		1	12.5	13
5. 未回答		0	0.0	0
計		8	100.0	101
その他（内容）				
食事用のまき割り中				

原因として考えられること	※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 作業内容等の周知不足		1	10.0	10
2. 知識/技術不足		3	30.0	30
3. 周囲への不注意		2	20.0	20
4. 機材の不備、点検不足		0	0.0	0
5. その他		4	40.0	40
6. 未回答		0	0.0	0
計		10	100.0	100
その他（内容）				
シカ、イノシシによる蛇の増加				
疲れ				
コミュニケーション不足				
今まで本地区にはいないと言われていた				

Q33 活動日に実施している安全対策を教えてください

活動前にその日の活動内容、注意点を参加者全員で確認している	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 必ず実施している	21	91.3	92
2. ときどき実施	2	8.7	9
3. 実施していない	0	0.0	0
計	23	100.0	101

作業中は、一定時間ごとに休憩(給水等)をとるよう声をかけている	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 必ず実施している	23	100.0	100
2. ときどき実施	0	0.0	0
3. 実施していない	0	0.0	0
計	23	100.0	100

活動終了後はヒヤリ・ハットの有無など、作業の振り返りを行っている	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 必ず実施している	7	30.4	30
2. ときどき実施	7	30.4	30
3. 実施していない	9	39.1	39
計	23	99.9	99

Q34 整備作業実施時に、区域内に部外者が立ち入らないような対策をしていますか。

	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 対策をしている	7	30.4	30
2. 特に対策をしていない	15	65.2	65
3. 不明	0	0.0	0
4. 未回答	1	4.3	4
計	23	99.9	99

対策内容
作業中の看板設置
看板設置、見回り
樹木整備時は警告表示、監視係の設置
伐木の時に山道のハイカーに注意
伐木時に通路に人を配置し通行止めに
看板、声かけ

Q35 傷害保険の加入の有無について教えてください。

	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 団体に加入している	16	72.7	72
2. 会員個人での加入にて対応	1	4.5	5
3. その他	3	13.6	14
4. 未回答	2	9.1	9
計	22	99.9	100

【※ 団体加入の金額】 円/団体

年払保険料額 (円)	数	割合 (%)	割合 (2) %
0	0	0.0	0
500 以上 1,000 未満	0	0.0	0
1,000 以上 5,000 未満	3	25.0	25
5,000 以上 10,000 未満	0	0.0	0
10,000 以上 25,000 未満	4	33.3	33
25,000 以上 50,000 未満	2	16.7	17
50,000 以上 100,000 未満	2	16.7	17
100,000 以上 150,000 未満	0	0.0	0
150,000 以上	1	8.3	8
計	12	100.0	100

Q36 加入している保険の補償内容を教えてください (いくつでも)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. チェーンソー等動力を使う機具使用に対応	11	39.3	40
2. カマ、オノ等手動作業に対応	7	25.0	25
3. レクリエーション活動のみに対応	2	7.1	7
4. 個人での加入のため不明	1	3.6	4
5. 農作業中	0	0.0	0
6. その他	4	14.3	14
7. 未回答	3	10.7	11
計	28	100.0	101

その他 (内容)
団体活動中の事故を補償
活動全般
ボランティア活動中全般
ボランティア活動保険で活動全体をカバー

Q37 「救命講習※」の受講状況を教えてください。

※各消防本部が実施する応急処置技能講習(修了証が発行されるもの)をいいます

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 受講したことのある会員がいる (普通救命講習)	13	56.5	56
2. 受講したことのある会員がいる (上級救命講習)	1	4.3	4
3. 受講したことのある会員はいない	7	30.4	30
4. その他	0	0.0	0
5. 未回答	2	8.7	9
計	23	99.9	99
[参考]			
救命講習の他にツリーワークエアリアルレスキュー講習を受講した団体あり。			

Q38 チェーンソーや刈払い機を扱う作業を行うときの実態について教えてください。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 安全衛生特別教育を受けた会員のみが機械を使用(講習を義務付けている)	7	30.4	30
2. 安全衛生特別教育を受けていない会員も機械を使用している	8	34.8	35
3. 必要に応じ団体内で安全講習会の開催や指導教育をしている	5	21.7	22
4. その他	2	8.7	9
5. 未回答	1	4.3	4
計	23	99.9	100
【3. 選択の場合】頻度 (回/年)			
回/年	数	割合 (%)	割合(2) %
1	2	40.0	40
2	3	60.0	60
計	5	100.0	100

Q39 整備作業の時に着用している防護具等を教えてください (いくつでも)。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. ヘルメット	15	25.0	25
2. ゴーグル (バイザー)	14	23.3	23
3. 防震手袋	7	11.7	12
4. イヤーマフ (耳栓)	4	6.7	7
5. 防護ズボン (チャップス)	6	10.0	10
6. 切創防止靴、足袋	8	13.3	13
7. 着用していない	4	6.7	7
8. その他	1	1.7	2
9. 未回答	1	1.7	2
計	60	100.1	101
その他 (内容)			
防虫ネット			

Q40 「労働安全衛生法に基づく林業機械の取扱講習等※」の受講状況を教えてください。

※林業・木材製造業労働災害防止協会等が実施する刈払機等の安全衛生特別教育(修了証が発行されるもの)をいいます。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. (会員数の)概ね8割以上が受講済	2	8.7	9
2. 概ね半数程度	8	34.8	35
3. 2割以下	5	21.7	22
4. 受講したことのある会員はいない	6	26.1	26
5. その他	0	0.0	0
6. 未回答	2	8.7	9
計	23	100.0	101

Q41 [※問40で「受講した会員がいる」という団体にお聞きします]

受講した業務を教えてください。

	数	割合 (%)	割合(2) %
※複数回答可			
1. 伐木等の業務	4	12.9	13
2. チェーンソーを用いて行う伐木等の業務	12	38.7	39
3. 刈払機取扱作業	12	38.7	39
4. その他	1	3.2	3
5. 未回答	2	6.5	6
計	31	100.0	100
その他 (内容)			
アボリストトレーニング研究所主催ツリーワーク講習会			

活動に当たっての課題

Q42 活動を行うにあたり、課題となっているものがあれば記載してください。

近隣住民がいるため、早朝の作業ができない。(夏場は早朝に行いたい)
会員の高齢化、新規加入者の不在
夏季期間は作業を中止しているので、作業目標に達しない
伐採木や草、竹の処理と再利用
過去に購入した機器(発電機、耕運機、脱穀機など)の補修費がない、会員の高齢化による後継者不足
会員が高齢となっており、後継者もないことから、数年後には解散になる。
ナラ枯れ立木がたすうあり、太い枝の落下が危ぶまれ伐採作業が行えない。自然に倒れるのを待つのみ。 トラロープ張り、頭上注意や立入禁止の看板や会員への注意呼びかけを行っている。
ナラ枯れによる倒木、落枝による負傷の心配。 ヤマビルの被害
高齢化 隊員数減 活動地の今後をどうするか、多分現在の隊は解散することとなるが、どこにどのように引き継ぐのか?地主、地権者は相談で里地里山に対する意識が大きく変わる。また、引き継いでくれるボランティア団体をスムーズに探せるか。
会員の高齢化により数年後の活動継続が不明。新規会員(特に若手)の確保
活動13年目になるが、8000㎡全体は整備できていない。毎月新しい竹が生えたり台風等で竹が倒れ、その都度整備が必要となる。
①後継者問題 新入会員が入らない、 ②車の維持 軽トラックが必需品だが補助の対象外となっている。厚木市からは一部補助を受けることとなったが、中古車の維持(整備、車検、必要に応じて更新)には多くのお金がかかる。人の土地を整備するのに必要以上の寄付金を募るのは難しい。現在の車が壊れたら団体の解散することとしている。
活動拠点の土地の問題で、休耕農地の利用をしたいが制約があり、なかなか利用できない。
運営する世話人の不足
年齢が上がってきて、活動が厳しくなって来ている
高齢化問題
草刈り機、チェーンソーの安全作業とメンテナンスの横展開 会員の継続的入会による買いの活性化(持続性)

Q43 利用している支援制度(補助金や企業等による助成金等)があれば教えてください。  
(県農地課の補助事業：認定協定活動団体支援事業 を除く)

制度名	支援内容
秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金	所有者との契約面積作業内容により支援金が支給される
公的的市民活動	助成金
市の緑地のアドプト契約による管理	市の予算(緑地整備費)で資材購入し現物支給
秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金	
秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金	里山における「里山整備活動」「普及啓発活動」「ふれあい活動」
秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金	「里山整備活動」「普及啓発活動」「ふれあい活動」
秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金	助成金受給
秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金	
①里地里山保全等促進事業補助金 ②団体育成(ふれあいの里づくり)事業補助金	①厚木市環境政策課 ②厚木市荻野公民館
秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金	
①緑の少年団活動助成金 ②里山ふれあいの森づくり事業補助金 ③寄付金	①かながわトラストみどり財団 ②秦野市 ③秦野市森林組合
森林・山村多面的機能発揮対策交付金	林野庁 資機材の購入他
秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金	下草刈り面積、伐木本数などに 応じた補助金
秦野市里山森林ふれあい課の助成金	

Q44 必要だと思う支援に○をつけてください(いくつでも)。

※複数回答可	数	割合(%)	割合(2)%
1. 資金関係(各種助成金等の情報、整備作業や道具の購入資金への補助・助成金)	14	51.9	52
2. 研修会等(農業機械等の安全研修、作業指導、活動計画作成、各種調査)	7	25.9	26
3. その他	2	7.4	7
4. 未回答	4	14.8	15
計	27	100.0	100
その他(内容)			
市全体の団体に対して、行政としての支援づくりが必要 ナラ枯れの処理等に係る補助			
[参考] ※分類して記載のあった回答			
	数	割合(%)	割合(2)%
1. 資金関係(各種助成金等の情報)	0	0	0
2. 資金関係(各整備作業や道具の購入資金への補助・助成金)	2	66.7	67
3. 研修会等(農業機械等の安全研修)	0	0	0
4. 研修会等(作業指導)	0	0	0
5. 研修会等(活動計画作成)	0	0	0
6. 研修会等(各種調査)	0	0	0
7. その他	0	0	0
8. 未回答	1	33.3	33
計	3	100	100

Q45 県の施策について、このまま継続して欲しいと思うことに○をつけてください。(いくつでも)

※複数回答可	数	割合(%)	割合(2)%
1. 活動団体が実施する、保全活動に対する補助	10	17.9	18
2. 活動団体が実施する、体験活動に対する補助	6	10.7	11
3. 活動団体が実施する、資機材に対する補助	15	26.8	27
4. 県主体で実施する、サミット等活動団体間の情報共有や交流	7	12.5	13
5. 県主体で実施する、里地里山を多くの人に知ってもらうためのシンポジウム等の開催	3	5.4	5
6. 県主体で実施する、コーディネーター制度	5	8.9	9
7. 県主体で実施する、子ども等を対象とした里地里山イベントの開催	5	8.9	9
8. その他	0	0.0	0
9. 未回答	5	8.9	9
計	56	100.0	101

Q46 県の施策について、改善して欲しいと思うことを記載してください。

回答数：3

内容	理由
ナラ枯れの森林の伐採支援	伐採作業の危険
①認定条件に協定を結んでいる団体としている点、②毎年度の報告、③認定時の助成内容	①行政が協定の仲介業務も行うべき、②報告内容が細かすぎる、③活動の助成ではなく、作業に対する委託として正当な金額を支払うべき、参加者の責任感、モチベーションもあがり団体の管理体制の維持向上につながると思う
ボランティア活動のみに頼らず、手当（報酬）を払って活動する団体会員を市町村と共同で作成し里山保全を維持継続させる。	ボランティア団体の高齢化により団体が消滅していくことが考えられる。
県と市で調整してほしい	

Q47 里地里山の保全に関して、県がすべきだ、又は、県がすべきことではない、と思うことがありましたら記載してください。

回答数：3

内容	理由
有害獣駆除不許可期間の撤廃 里地里山保全への資金援助	鳥獣被害が拡大している 機械類にお金がかかるし、移手段の軽トラがない
ナラ枯れの森林の伐採支援	伐採作業の危険
県と町の役割分担が分からない	
有害鳥獣対策の推進	
傷害保険、緑の少年団安全会の復活	けがや事故への補保障がなく活動が不安なため
市町村の里山についての考え方も立場によって違う。二宮町は里山に対するビジョンが明確でない。県のビジョンとの関連はどうなっているのか？	
ナラ枯れ対策	安全面の点から

Q48 県の里地里山条例や保全施策、取組みを知っていましたか。

設問	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 知っていた	7	30.4	30
2. 知らなかった	14	60.9	61
3. 未回答	2	8.7	8
計	23	100.0	99
【1. 選択の場合】内容			
里地里山活動協定			
全般			
理念や選定、認定のこと			
保全促進のための施策			

Q49 県の里地里山条例に基づく活動団体として、里地里山活動協定の認定を受けたいと思いますか。

設問	数	割合 (%)	割合 (2) %
1. 思う	0	0.0	0
2. 思わない	5	25.0	25
3. 興味はある	11	55.0	55
4. その他	2	10.0	10
5. 未回答	2	10.0	10
計	20	100.0	100
その内容			
今の活動で手一杯、後継者もいないので受けたいという思いが進まない			



## 自由意見欄

くくりワナ試験の簡素化、鳥獣駆除は農業には死活問題、高齢者の離農、放棄地の拡大、電気柵の補助増額、アンケートの有効活用

今、里地里山保全という生き物、貴重種、景色、環境保全に重点が置かれているが、本来里地里山は人間が作ったもので人間中心の環境のはず。多くの人間がその環境を利用した、利用できることを最重要課題としてほしい。特に私たちは、里山で子供たちが遊んだり虫を捕まったり、腹がすいてクワの実を食べたり、家にきれいな花を摘んで持ち帰ったり、ドングリを拾ったり、落ち葉を集めてその中にもぐったりと、子供たちが自然と一体になって活動できる空間づくりを目指していきます。

都市市街地の中にある私有地の緑地での、生態系保全中心の活動で、田畑は一部の活動なので、農業、林業などの生産活動はないので、政策の趣旨が合わないと思います。

ナラ枯れ立木の安全な作業法があれば実地研修を受けたい。

軽量（20kg程度）で高齢者でも運搬可能な作業者保護カバー（太枝落下時の保護）

会員の高齢化により活動が困難に。活動の後継者の募集の支援が急務。

隊員減と高齢化に伴い、現在の活動地が今後どうなるか心配するものです。私たちの団体構成員は都市部に居住するものが多く、一方活動地は小田原、秦野、伊勢原市などとなっています。本来的には地域住民を主体とするのが条例の趣旨のように感じます。しかし活動の主体のとらえ方を「県民」とした大きなくくりではなく、また地域住民主体にとどまらず、県民を多角的、多様に考えて、県民一人一人の価値観（居住地等を含めて）を多様化するような取り組みが必要と考えます。

秦野市全体の里山活動団体の継続に関してどんな施策が考えられるのか検討を始めている。県としてもどのようにすべきか考えてもらいたい。ボランティアだけでは今後活動はできないようになると思われる。

現在、里地里山の活動をしている人達は高齢者が多く若い人達が少なくなってきていてすべてボランティアです。若い人達に克応してもらうには、ボランティアではなく有料で仕事をしてもらうことです。安定収入があれば人が集まり計画的、長期的に活動ができる。